

令和2年10月19日

職員各位

八代市長 中村 博生

令和3年度予算の編成について

本市はこれまで、第2次八代市総合計画に掲げる将来像を目指して、本市が抱える政策課題を整理し、さまざまな施策に全力で取り組み、魅力あふれる都市の形成や、市民福祉の増進を着実に進めてきているところである。

しかし、令和2年になり、全国的な新型コロナウイルス感染症の発生に加え、令和2年7月豪雨災害により、坂本町に甚大な被害が発生したことに伴い、これまで迅速な対応を図っていく観点から、適宜、補正予算等により対応を図ってきたところである。

このことにより、例年の補正予算を大きく上回る水準の財政出動を行っていることもあり、財政基盤が大きく傾いてきている状況となっている。

そのような中で、今後も坂本町の安全安心な市民生活を取り戻すことを第一に、新型コロナウイルスの感染症対策と社会経済活動の両立を図りながら財政健全化に取り組んでいく必要がある。

今般、その指標となる中期財政計画を見直し、継続的な対応が図れるよう予算編成方針を策定したため、その内容を十分認識し、限られた一般財源枠を有効活用するためにも、前例や既成概念にとらわれず思い切った発想による事業の改革に挑戦し、本年発生した事態を乗り越え、新たな生活様式による希望あふれる本市の将来像につなげていけるよう、メリハリのある効率的な予算編成に取り組んでいただきたい。